



2022年11月28日

株式会社ライフコーポレーション

サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク策定および サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

株式会社ライフコーポレーションは、サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク（以下「本 SLL フレームワーク」）を策定するとともに、本 SLL フレームワークに基づくシンジケーション方式の「サステナビリティ・リンク・ローン」の融資契約をアレンジャーとしての三井住友信託銀行株式会社と締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）は、借り手のサステナビリティ目標に関連するサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下「SPTs」）を設定し、借入条件と SPTs のパフォーマンスを連動させることにより SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動や成長を促進することをめざすものです。

本 SLL フレームワークは、株式会社日本格付研究所より、「サステナビリティ・リンク・ローン原則」への準拠性および設定した KPI と SPTs の合理性について第三者意見(※)を取得しています。

<当社のサステナビリティに関する取り組みについて>

当社は、「『志の高い信頼の経営』を通じて持続可能で豊かな社会の実現に貢献する」という経営理念に基づき、ステークホルダーの皆様から信頼される企業として、地球環境とその上に成り立っている社会の課題解決に努めています。「環境への負荷低減」を最重要課題の1つとして捉え、自社の事業活動が環境に与える影響が大きいと考えられる「CO2 排出」削減、「食品ロス」削減に取り組み、事業活動によって発生する環境負荷を低減し、循環型社会・脱炭素社会の実現をめざしています。

<KPI および SPTs の概要>

本 SLL フレームワークは、以下の KPI と SPTs を設定しています。

KPI		SPTs	SDGs
①	温室効果ガス（Scope1、2）総排出量削減率（2013年度比）	温室効果ガス（Scope1、2）排出量を 2025 年度に 90%（2013 年度比）まで削減、2028 年度に 75%（2013 年度比）まで削減、2030 年度に 50%（2013 年度比）まで削減	 
②	売上高当たりの食品廃棄量削減率（2017年度比）	売上高当たりの食品廃棄量を 2025 年度に 55%（2017 年度比）まで削減、2028 年度に 51%（2017 年度比）まで削減、2030 年度に 49%（2017 年度比）まで削減	   

(※) サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠性および設定した KPI と SPTs の合理性について第三者意見株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。 <https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>